

田原本町住民協議会 施設レビュー議事録

副町長の挨拶

私から2点だけお話をさせていただきたい。

1点目は公共施設の再編統合について、財政状況が厳しい中、施設の維持管理費は今後増加していくことを踏まえると、現在の施設規模を維持することは困難である。しかし、ソフト面については、維持をしていきたい。町としては「縮充」という言葉を共通認識としている。

2点目は、行政改革を継続的に実施していくには、行政だけでなく、町民の皆様の自分ごと化に基づく協力が重要である。

最後に、住民協議会の結果がどうなろうと田原本町にとって前進になると思っているので、これからの数ヶ月間、ともに悩んで考えて、議論をさせていただき、よりよい田原本町のためにお力添えをいただきたい。

有識者、住民からの意見（一部）

● 青垣生涯学習センター（レビュー対象外）

料金体系を時間区分ではなく、使用内容に応じたフレキシブルな料金体系があってもよいのでは。（公益性が高いかどうかなど。）【有識者】

他の施設の機能を移転してより総合的な機能を持った施設として、フル活用すべきでは。【住民】

● 中央体育館

やすらぎ体育館の大規模改修は控え、中央体育館に特化して整備してはどうか。【有識者】

中央体育館は、改修して存続させてほしい。【住民】

ネーミングライツを導入してはどうか。【住民】

収入を上げる方法を考えた方がよいのではないか。（利用料金を上げるなど）【住民】

町のスポーツの拠点として必要な施設だと思う。【住民】

災害時の避難所として充実させてほしい（炊き出しやトイレ機能など）【住民】

やすらぎ体育館を廃止し中央体育館に一本化する場合は、交通手段等の工夫（シャトルバスの運行）が必要ではないか。【住民】

- やすらぎ体育館

やすらぎ体育館について、民間業者にサウンディング・貸出を行い、民間業者に活用してもらってはどうか。【有識者】

やすらぎ体育館については、大規模改修をせず、施設の耐用年数を期限として使い倒すのはどうか。【コーディネーター】

施設の老朽化のため、中央体育館と統合してはどうか。【住民】

町民の健康を考えるのであれば、安易な廃止は疑問である。【住民】

「体育館＝スポーツ」と固定しない発想を前提に、民間事業者へ貸し出してはどうか。【住民】

使用料や備品の貸出料金が安すぎると思う。【住民】

小中学校の体育館で代用できるのではないか。【住民】

- 老人福祉センター

町で入浴サービスを実施するのではなく、民間の入浴サービスへの補助ということをしてよいのでは。【有識者】

無料の施設であるが、使用料等の受益者負担があってもよいのでは。【住民】

町内の民間を含めた代替施設に移行していくのはどうか。【有識者】

町の入浴サービスについては、利用の対象者を絞るのはどうか。【コーディネーター】

建物の耐用年数だけでなく、設備の耐用年数を見据えた運営を。【有識者】

受益者負担等を行ってでも、入浴サービスは続けてほしい。【住民】

ほとんどが浴場利用者であり、減少傾向かつ固定化されている状況を踏まえると、大規模改修は行わず将来的に廃止でどうか。【住民】

各家庭に風呂は付いており、老人福祉センターの稼働率も高いわけではないので、ふれあいセンターへ統合で良いのではないか。(統合した場合は自治会単位で利用日を決めてシャトルバスで送迎してはどうか) 【住民】

タクシー運賃補助で民間施設の利用を促してはどうか。【住民】

独居老人の自宅入浴には火災や死亡の危険もある。【住民】

高齢者の心と体の健康のため、大浴場は必要だと思う。【住民】

会議室は青垣で代替可能ではないか。【住民】

利用者の実情を把握することが重要である。独居老人など入浴サービスを本当に必要としている場合も多い。【住民】

- さわやか交流センター

ふれあいセンターと一体管理した方が良いのでは。【有識者】

指定管理にした方が良いのでは。【有識者】

昔は隣保館の事業として識字教室などが実施されていたが、今はその名残で各教室が実施されているまでのこと。現代にこの類いの施設が残されていること自体がおかしいと思う。【住民】

稼働率があまりに低いため廃止で良いと思う。【住民】

本来目的である人権啓発の活動をしっかりと実施すべきだと思う。【住民】

青垣で教室を開催することが出来るのではないか。【住民】

集会はふれあいセンターで開催すれば良いのではないか。【住民】

補助金目的は税金の無駄遣いではないか。【住民】

- ふれあいセンター

健康福祉の増進、世代間交流に一定の効果が表れている【コーディネーター】

現状でも工夫して満足度の高い施設としてやっているが、更に工夫する余地があるのでは。【有識者】

町民だけでなく、受益者負担で町外在住者の利用を検討しては。【住民】

さわやか交流センターとの一体管理をしてはどうか。【有識者】

年間 4800 万円の経費が多すぎるのではないか。(図書館や児童館は青垣へ統合できるのではないか)【住民】

指定管理者が長年同様であることのデメリットもあるのではないか。【住民】

学童保育を有料にしてはどうか。【住民】

老人福祉センターの浴場を廃止し、その受け入れ先となった場合は、受益者負担の適正化について熟慮していく必要がある。【住民】

さわやか交流センターとの統合でより活用しやすくなると思う。【住民】

近隣市町村には身障者用入浴設備の存在するところが限りなく少ない。当事者にとってはとてもありがたいことなので、現状維持して欲しい。【住民】

予約なしで気軽に子どもを連れていけることがありがたい。(ここの児童館の良さ)【住民】

親子の利用が増えている。(土、日が特に。利用者の口コミで広がっている場合もある)

【住民】

一時保育など収益を得られる事業を展開できるのではないか。【住民】

- 町民ホール

長期的な民間への貸出は反対。【住民】

利用者がある程度特定されているにも関わらず、町の支出が多すぎるように感じる。

【住民】

フリーマーケットなど地域の人たちがふれあえるような事業を展開してほしい。【住民】

ふるさとハローワークなどの就労支援機能を設けてはどうか（若者、障害者、女性、高齢者）※田原本町の管轄が桜井市ハローワークなので遠い。【住民】

コンビニ、FM局、町長の部屋、町議会、銀行などはどうか。【住民】

貸館は青垣で代替できるのではないか。【住民】

- 総括

今後、人口減少や高齢化はどの地域も避けられない。財源は限られているため、その予算をどう配分するかを取捨選択を地域で考える必要がある。【有識者】

田原本町は今からの10年～15年が本当に厳しい。大体建てた年度も近く、外壁など何もやらずにずっと設備の更新をしている状態にある。【有識者】

- 次回の予定

次回は第1回目の住民協議会として4月22日（土）午前9時から正午まで、開催場所は町民ホールで実施します。